



## 9/10 無事収穫できてホッとした



秋の宮中行事「新嘗祭」へ献上するため6月に植えた粟が綺麗に実り、献穀者の松本耕太郎さんや地元関係者らが収穫に汗を流しました。

今年は大雨や台風の影響が大きく、水害対策として畝を高くしたり、穂が出た後は網をかぶせて防鳥対策をしたりと、試行錯誤の連続だったそうです。松本さんは「初めての粟の栽培だったが、多くの人に励まされて元気をもらった。無事収穫できてホッとした」と安堵の表情を浮かべていました。

収穫した粟は、精粟、選別の後、5合が新嘗祭に献上されます。

## 9/16 パン豆で子どもたちに元気を



コロナ禍で学校生活が制限された児童に喜んでもらおうと、新居浜市シルバー人材センター（佐々木俊洋理事長）が市内の全小学校に「パン豆」7,000袋を贈りました。

パン豆は、同センターの会員が生産した米を原料に会員たちが手作りしたもの。地元の食文化に触れてほしいとの思いも込めました。

市役所での寄贈式には、金栄小6年の眞鍋涼介君と合田萌愛さんが出席。パン豆を受け取った眞鍋君は「これを機に、いろんな新居浜の食文化を知りたい」と笑顔。合田さんは「久しぶりに食べるので楽しみ」と目を輝かせました。

## 9/26 みずみずしい感性でPR動画制作



小中学生らが地元の魅力を動画で発信する「Hello! NEW 新居浜コーチュー部」の活動がスタートしました。活動は計3回。新居浜のPR動画を制作し、YouTubeで配信します。

初回は撮影の仕方やSNSの危険性などを学習した後、地元銘菓3品を紹介する動画の撮影に挑戦しました。参加者は手際よく商品を盛り付け、おいしさが伝わるようコメントを添え、動画を完成させました。

1回目の活動を終えた渡部花菜さん（中萩中1年）は「自分も楽しみながら、視聴者が楽しめるような動画を作りたい」と意気込みました。

## 10/1 民間の知見を行政に!!



地域おこし企業人として、ソフトバンク(株)中川具亮さんが就任し、委嘱式が行われました。

地域おこし企業人とは、民間企業の社員がその知見を生かし、地方自治体で地域の魅力向上につながる業務に従事する総務省の制度で、今後は本市のスマートシティ推進事業などに携わる予定です。

市長から委嘱状を受けた中川さんは「新型コロナウイルスの影響で、働き方や行政の取り組みも変化している。自分の業務経験を生かして、世の中の動きに乗り遅れることがないように貢献したい」と意欲を見せました。